やまがた 学校給食だより
県学給
第29号
令和2年2月28日

［編集・発行］
公益財団法人 山形県学校給食会
〒990-0051 山形市銅町一丁目2番12号
TEL.023-622-0938 FAX.023-631-0961
http://www.yamagaku.or.jp

みんなの〝想い〟がギュッと詰まった給食で、
山形の子どもたちを育てましょう
今年もよろしくお願いいたします

公益財団法人山形県学校給食会　理事長　小林　正次

目次

※表紙の花　サザンカ　花言葉【困難に打ち克つ、ひたむきさなど】

食品の価格動向と学校給食への影響について

1. 全体の状況について

昨年は、全国各地で、記録的な豪雨、台風、猛暑などの自然災害が相次ぎ、多くの方々の生活に甚大な被害をもたらしました。被災された全ての皆様にお見舞い申し上げます。

さて、米海洋大気局は、昨年６，７月は世界の平均気温が高く観測史上最も暑い月だったと発表しました。1980年の観測開始以来、気温の上昇傾向は加速し、温暖化は食料の安定供給に影響が出て、干ばつや洪水が増え農業の収率が下がり、2050年に穀物価格が最大23％上昇する恐れがあるとする試算もあり、自然災害への対策が喫緊の課題として話題に上がるようになりました。

厚生労働省が発表した2018年の日本人の平均寿命は、女性87.32歳、男性81.25歳で、ともに過去最高を更新しました。過去最高の更新は女性が６年連続、男性は７年連続と平均寿命が延び続ける一方、2018年に生まれた子供の数は、91万8,400人と過去最低を記録しました。

人口動態統計によると、昨年1～9月に生まれた子供の数は、67万3,800人と前年同期に比べ5.6％減りました。急速に進む少子高齢化は社会に大きくかつ幅広い影響を及ぼすこととなります。

農林水産省が発表した我が国の平成30年度の食料自給率は、カロリーベースで37％と統計を取り始めた1965年以降では米の不作で過去最低だった1993年度と同じ水準になりました。清算ベースは66％と前年度比で横ばいとなり、2020年も輸入に頼る割合が高いまま推移し、海外の食料動向、政治、経済、天候、為替等に大きく影響されることが予測されます。

2. 学校給食用物資について

（1）一般物資について

本会が入手した一般物資の価格動向について、説明させて頂きます。依然として、学校給食関係者には国産品への志向が強い状況は続いています。国内の野菜につきましては、前述の通り、台風や悪天候により大きな影響を受けました。国内農産品の生産量が多い北海道では昨年、札幌市は68年ぶりに９日連続で真夏日（30℃以上）を記録し、北海道佐呂間町として全国の観測史上最高気温となる39.5℃を観測するなど季節外れの高温も見られましたが、とうもろこし、じゃがいも、いんげん、にんじん、えだまめ、かぼちゃなどは、日照量が多く豊作となり、今年は大きな変動はないかと思われます。九州方面に目を向けましても、昨年10月12日に上陸した台風19号などの被害により、ほうれん草、小松菜、きぬさやなどの野菜に大きな影響をもたらしましたが、11月から収穫を開始し現在まで順調に推移しております。また、春先が豊作だったことから、こちらも大きな変動はないかと思われます。

水産品に関しましては、エビは復活の兆しがみられますが、以前として、いか、かに、さんま、秋鮭全般は不漁となり厳しい状況が続くと思われます。また、わかめ、海苔に関しましても温暖化などによる海水温度上昇の影響を受けやすく数量を確保することが困難な状況にあります。

本会と致しましては、今年も安心・安全な物資の供給に努めてまいります。

（2）基本物資について

基本物資の価格通知については年度末に行っておりましたが、もう少し早く知りたいとのご意見を頂き、今回より２月中の通知を予定しておりますので、ご確認お願い致します。

安全安心で楽しい学校給食をめざす研修会

令和元年９月３日（火）と９月10日（火）の二日間にわたり、置賜地区・村山地区の「安全・安心で楽しい学校給食」をめざす研修会を開催いたしました。

日頃供給されているパン・米飯の製造上の理解を深めていただくとともに、より安全・安心な学校給食を目指すことをねらいとして、委託製造工場の視察・説明・講和・協議などを行いました。当日は、たくさんの関係者様よりご参加いただきまして、誠にありがとうございました。次回開催は、令和３年に最上地区・庄内地区を予定しております。

たいようパン工場視察・協議

ライオンパン工場視察・協議

委託加工工場実地調査

令和元年11月19日～12月６日にかけ、学校給食用委託加工工場の実地調査を行いました。本会では定期的にすべての工場を巡回調査しておりますが、ノロウィルスが流行する直前のこの時期は、県内すべての委託加工工場を各管内の保健所職員と本会の職員また衛生管理指導員が来年度の製造に向けた衛生状態チェックを含め、衛生状態について調査・指導しております。

調査では保健所職員の方から工場内を細部までチェックして頂き、また本会の植松衛生管理指導員からは、改めてノロウィルスの予防方法等について指導を行いました。

それぞれの工場でより衛生管理について徹底して頂き、安全・安心で安定的な供給ができるよう全工場へお願いしてまいりました。なお、調査結果は各市町村教育委員会に送付しております。

マルシチ米穀株式会社

鈴木製麺株式会社

学校給食に関する他団体の支援事業について

本会では、学校給食に関する諸団体等の行う活動への助成や、食育推進活動への支援、また、食育の推進者としての資質向上を図るため、県内の学校栄養教諭・学校給食栄養士の先生方を対象とした全国大会や各種研修会への派遣事業等を行っております。

○支援事業

山形県栄養教諭・学校給食栄養士会　山形県学校保健研究大会　学校給食記念碑保存会　山形県市町村学校給食共同調理場連絡協議会

○共催事業

モンテディオ山形・パスラボ山形（食育リーフレット作成）

○派遣事業

第60回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会

岐阜県　令和元年８月７、８日　（来年度は栃木県にて開催予定です。）

派遣事業として本県から2名が参加いたしました。

第70回全国学校給食研究協議大会

岡山県　令和元年11月７、８日（来年度は熊本県にて開催予定です。）

派遣事業として本県から2名が参加いたしました。

食育推進講習会

東京都　令和元年10月及び11月

派遣事業として本県から３名が参加いたしました。

冷凍庫等学校給食設備無償貸与事業

この事業は、国の事業として昭和51年度から始まりましたが、希望する台数に対応できるよう、昭和59年からは、併せて本会でも本事業を開始しており、平成16年からは、本会のみで予算化し事業を継続しております。

現在、県内に154台の冷凍保管庫等を設置している状況です。

なお、今年度は一覧表のとおり（300ℓ型1台、700ℓ型1台、1,400ℓ型2台）合計4台の冷凍保管庫等を設置しております。

※本事業は、公益事業（無償）の一環として、おこなっているものです。

令和元年度学校給食用冷凍庫等設置一覧表

設置学校・センター名	機　種	300ℓ	500ℓ	700ℓ	1,400ℓ
尾花沢市福原小学校	冷凍庫	1台			
尾花沢市学校給食共同調理場	冷凍庫				1台
村山市立袖崎小学校	冷凍冷蔵庫			1台	
新庄市立新庄小学校	冷凍庫				1台
小　計		1台	0台	1台	2台
合　計		4台			

祝 おめでとうございます！

令和元年11月7～8日に岡山県岡山市で開催されました第70回全国学校給食研究協議大会において、本県より学校給食優良学校等として「天童市学校給食センター」が、学校給食功労者として「渡部美枝子さん」が文部科学大臣表彰を受賞されました！

これは、文部科学省が、学校給食の供給にあたり、給食指導の充実、魅力的な学校給食の提供、学校や家庭、地域に根差した運営、そして、安全安心な学校給食の供給を長く続けていることなどについて、特に優秀な成果をあげた個人、学校、共同調理場及び学校給食センターを表彰しているものです。

渡部美枝子さんにおかれましては、長年にわたり栄養教諭としてお勤めになられ、食育指導の充実、安心安全な学校給食の提供にご尽力いただきました。

天童市学校給食センターの皆様におかれましては、髙橋所長をはじめとした職員の方々、また、これまでご在籍いただいた方々による長年にわたる学校給食へのご尽力、ご実績が高く評価されたものと思っております。

心よりお祝い申し上げます！

食品検査室だより

令和元年４月～ 12月給食検査実績

区　分	対象物資	令和元年度検体数	備　考
本会取扱い物資の検査	常温物資	269	本会取扱い物資全て細菌検査及び放射性物質検査を実施
	低温物資	165	
	冷凍物資	580	
	計	1,014	
	その他	172	
	小　計	1,186	
市町村共同調理場学校等取扱い物資検査	希望する食品手指、調理器具等の拭き取り検査、その他	細菌検査　220	理化学検査は、澱粉、蛋白質、脂肪の検査を実施。放射能検査は、ヨー素、セシウム検査を実施。
		理化学検査　99	
		放射性物質検査　0	
	小　計	319	
講習会等における品質管理指導	学校給食関係者、市町村、委託加工場、その他	講習会	
		15名	
合計	検査検体数	1,505件	
	衛生管理講習会指導	15名	

ノロウイルス予防 ４原則

① 「持ち込まない」
② 「つけない」
③ 「広げない」
④ 「加熱する」

ノロの場合、食品中で増えないので増やさないは当てはまらない。

食品検査室からのご案内

食品検査室では、衛生管理の一助として市町村共同調理場、学校からの依頼検査を受け付けてまいりましたが、従来の細菌検査、理化学検査に加え放射性物質検査も可能です。

ご希望の調理場、学校等はホームページ上の「食品検査依頼書」により申し込んでいただくようお願い致します。

また、研修会等での衛生指導のご依頼も受け付けておりますのでご相談下さい。

衛生管理室長　高橋長一郎
TEL：023－622－0938

物資研究委員会選定物資
山形県産小松菜 IQF カット　生産者

ほっこり農園　～でっかい小松菜“ほっこり”しあわせ届けたい～

食卓に美味しい小松菜を届けたい。
給食で子供たちに安全な小松菜を食べてもらいたい。
介護施設で生活を送る方たちに小松菜を食べて元気になってもらいたい。
そんな思いから『ほっこり農園』を立ち上げました。ハウスと露地栽培（畑）を組み合わせて年間を通して栽培しています。
当農園の小松菜は、太くてやわらかいのが特徴です。
野菜は肥料を多く与えることで早く成長し、太く育ちますが、多すぎると苦みが強い野菜が出来てしまいます。そこで、定期的に土の成分を分析し、最適な量を見極めて土作りをしています。また、ゆっくりと時間をかけて栽培することで、一本一本を太くしっかり育てています。
もう一つの特徴は、生で召し上がっていただけることです。アクの少ない小松菜になっているので、畑で収穫してそのまま食べて頂けます。これもしっかりとしたバランスのとれた土づくりが出来ているからです。

小松菜は、年間を通して同じ場所で何回も栽培する作物です。そのため肥料のバランスを維持するのがとても重要になるのですが、私は一から農業を始めたので、農業に関する知識が全くありませんでした。今でも勘に頼らず適宜、土の分析結果から入れる肥料の量を見極め栽培しています。これからも、おいしいと喜んでもらえる野菜を提供できるよう努めていきたいと思います。

山形県西置賜軍白鷹町広野三一七二
ほっこり農園　代表　新野　詠幾

規格1kg
875円（税込）
ご注文は本会まで
お問い合わせください！

学校給食用物資研究委員会

学校給食用物資研究委員会は、学校給食の充実と多様化に伴い、本会取扱物資の選定及び物資の開発等について研究を行い、物資供給業務の適正円滑化を図っております。

今年度は令和元年11月27日（水）に本会にて開催され、7メーカー11品について選定協議が行われました。

協議の結果、今回は６品目が評価の高い物資として選定され、1月より本会の新規取り扱い物資として供給する事が決定致しました。

商品については、以下に掲載致します。



新規取扱い物資

※表示は全て税込価格になります。

若鶏もも磯辺フライ
（あおさ入）
40ｇ 63円 /50ｇ 83円

いかねぎカツ
40ｇ 38円 /50ｇ 52円

パテ・黒ごま（Fe）
15ｇ 18円

豚レバーチップ
500ｇ 816円

角きざみのり（花ふぶき）
80ｇ 870円

山形県産小松菜 IQF カット
1 kg 875円

編集後記

昨年は元号が平成から令和に変わり、あっという間に2020年という新しい年を迎えました。皆様のお力添えをいただき、このたび、「やまがた学校給食だより」第29号を発刊することができました。新年を迎え、新たな気持ちで、安心・安全な学校給食の供給を目指すとともに、学校給食の普及に取り組んで行く所存でございます。今後とも、皆様からのご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

http://www.yamagaku.or.jp 検索